取扱説明書

JC-C　ダクト式無煙ロースター

形名　JC-C（本炭タイプ）

- このたびはロースターをお買い上げいただきまして、
  まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、
  お使いになる前に この取扱説明書をよくお読みになり、
  十分に理解して下さい。
- お読みになった後は いつも手元においてご使用下さい。

もくじ

株式会社　中部コーポレーション

安全上のご注意

○ ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ 正しくお使い下い。
○ ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。

● ガス漏れに気づいたときは すぐに機器の使用をやめ、ガス栓を閉じ、窓や戸を開放し、ガスを外に出し、販売者またはガス供給者に連絡し、全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないこと。 炎や火花で引火し、爆発事故の原因になります。

● 本体に貼ってある銘板のガス種以外では使用しないこと。
異常燃焼で火災、火傷や一酸化炭素中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。不明な場合は、販売者またはガス事業者に連絡してください。

● 引越しや移設をされたときは、供給ガスの種類と機器銘板のガス種が一致していることを、必ず確かめてください。

● 可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶、ガソリン、ベンジン、接着剤、石油缶など）のものを機器の上やまわりに置いたり、使用したりしないこと。
焦げたり燃えたりして火災の原因になります。

● 棚の下など、落下物の危険のあるところに設置しないこと。
機器の上に落ちたものが燃えて、機器が破損したり、火災の原因になります。

● 機器を設置した後、機器の周辺の改造をしないこと。
設置基準上問題となる場合があり、不完全燃焼や火災の原因になります。

● 水槽に水が入っていない状態で使用しないこと。
火災の原因になります。

● 絶対に分解したり改造はしないこと。
異常動作したり故障の原因になります。

● 使用時には換気扇を回し、必ず換気すること。
換気しないと室内の空気が汚れて不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります。

● 地震、火災など緊急時や、使用中に異常な燃焼、臭気、音等ふだんと違った状態になったとき、不都合が生じたときには、ただちに使用を中止すること。
火災、火傷、一酸化炭素中毒の原因になります。

● 強い風の吹き込むところや屋外に設置しないこと。
性能が十分に発揮できなかったり、炎が消えたり、風にあおられて周囲のものの過熱の原因になることがあります。

● 安定性の良い丈夫で水平なところに設置すること。
不安定で傾いたところに設置すると、機器の落下や異常加熱などによって、ケガや火傷の原因になることがあります。

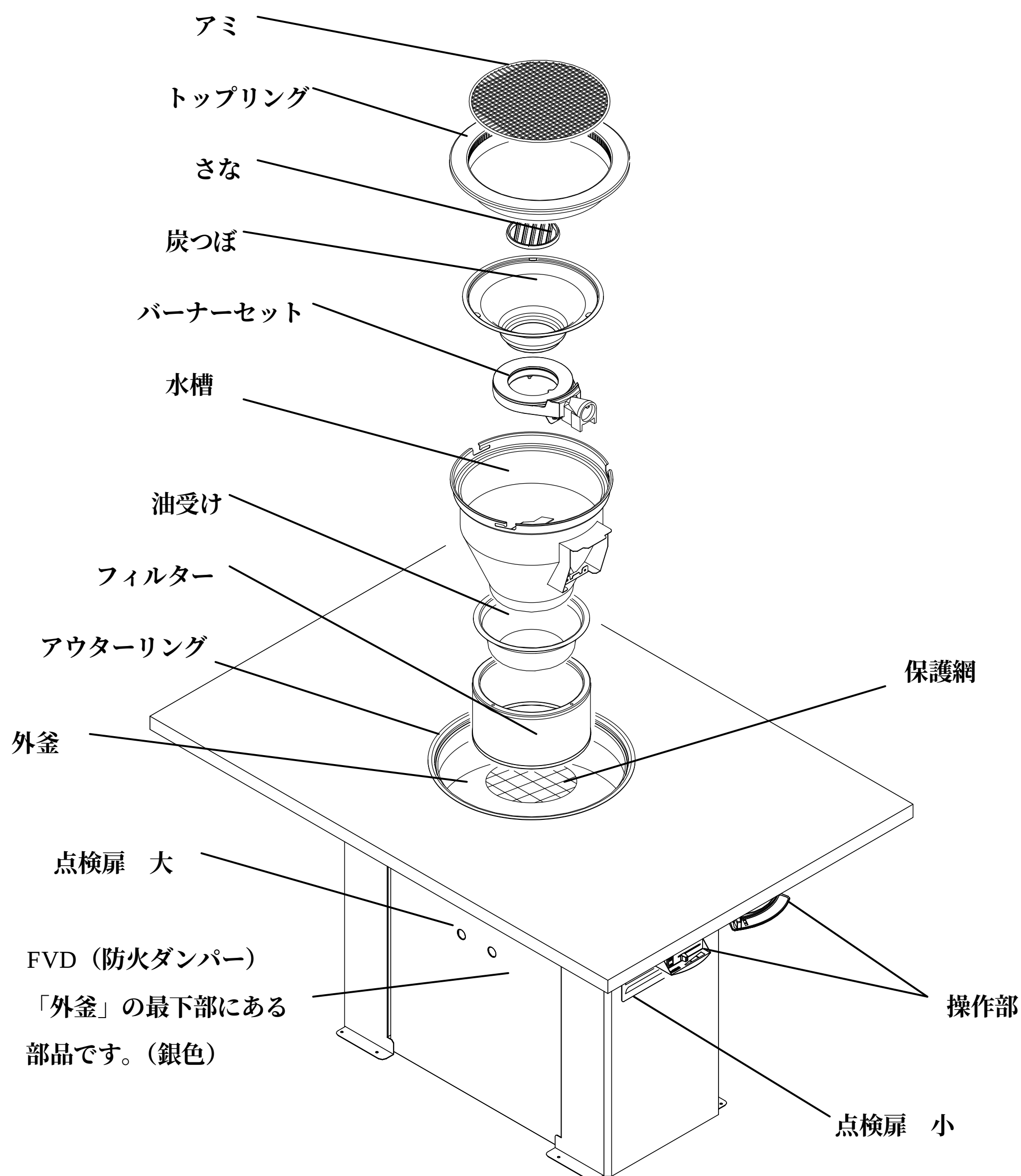
● 点火のときや使用中はバーナー付近に顔を近付けすぎないこと。
火傷の原因になります。

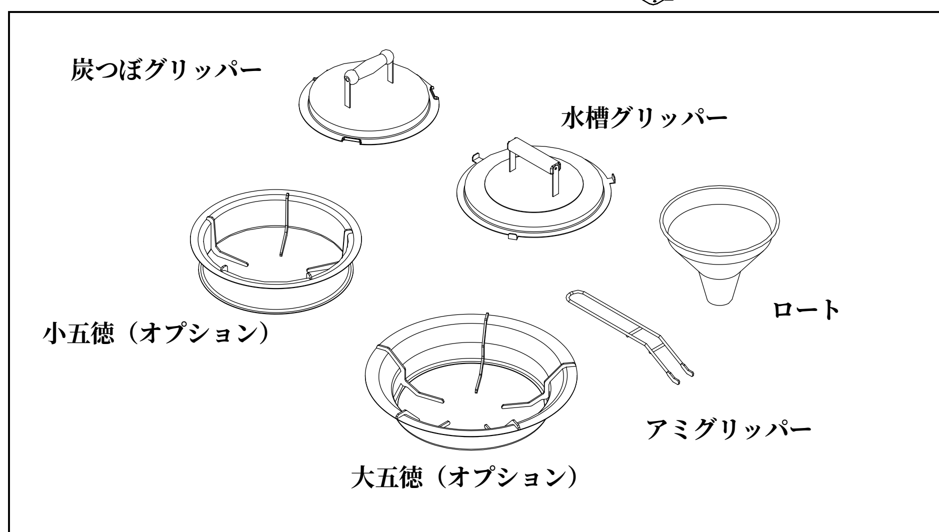
● 使用中および使用直後は、網や機器本体と、その周辺が熱くなっているので、操作部以外は触らないこと。
火傷の原因になります。

● 使用中および、使用直後は焼網や水槽、炭つぼ、さな、それら周辺部は高温になっているので、持ち運びの際は、落としたり、　こぼしたりしないように注意すること。
火傷の原因になります。

● 五徳を使用するときは、炭の熱源を用いて鍋を加熱してください。
炭の量が少ないと、鍋の沸きが遅くなります。

各部の名前


アミ
トップリング
さな
炭つぼ
バーナーセット
水槽
油受け
フィルター
アウターリング
外釜
保護網
点検扉　大
FVD（防火ダンパー）
「外釜」の最下部にある
部品です。（銀色）
操作部
点検扉　小


炭つぼグリッパー
水槽グリッパー
小五徳（オプション）
ロート
アミグリッパー
大五徳（オプション）

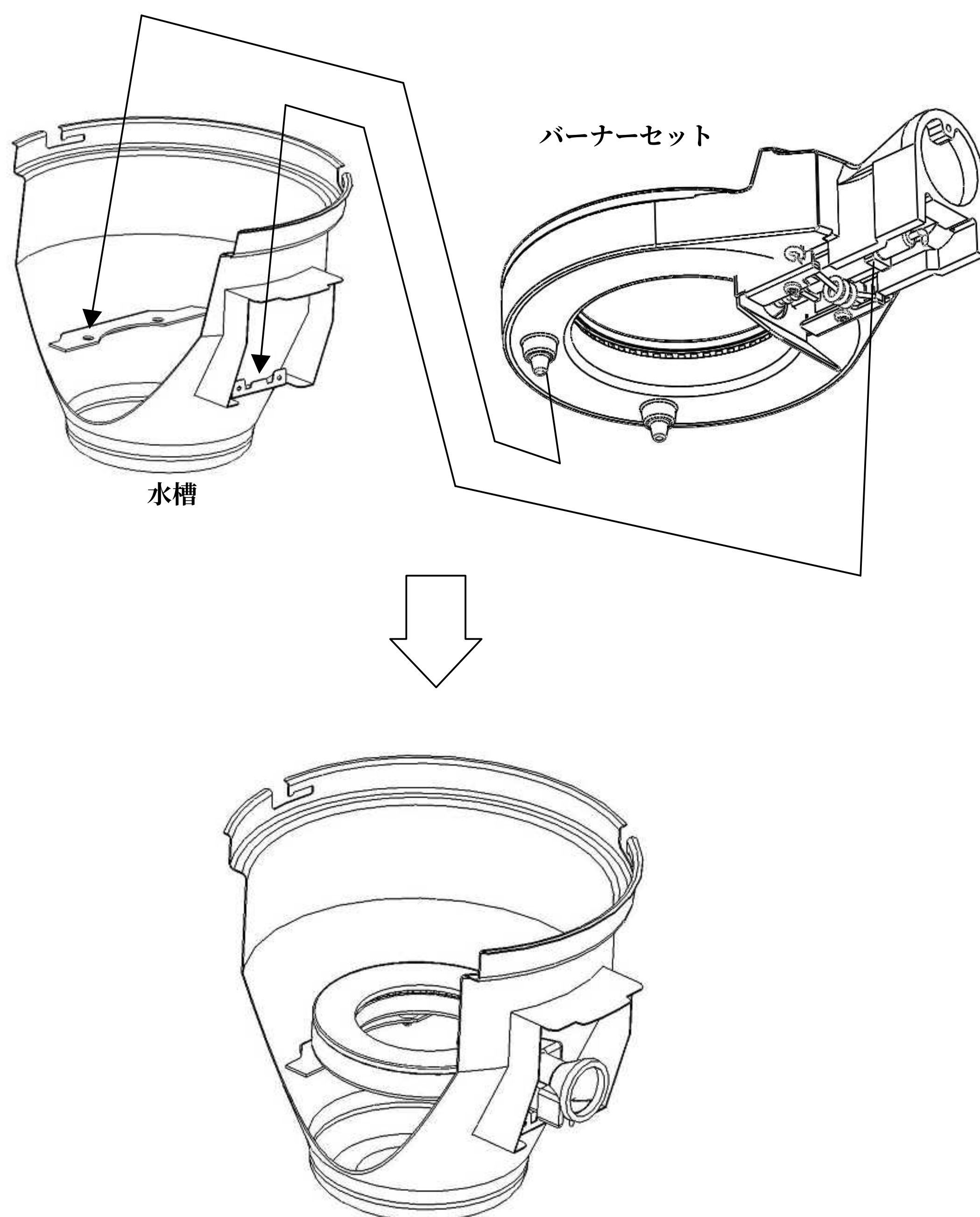
準 備　（各部の名前は ３ページを参照してください。）

各部品のセット

１.「保護網」「フィルター」「油受け」をセットして下さい。
２.「水槽」「バーナーセット」をセットしてください。

※1　あらかじめ「水槽」に「バーナーセット」をセットしてから
「水槽」を本体に入れると、簡単にセットできます。

※2　「バーナーセット」を「水槽」にセットする際は
下図の様に　しっかりとセットしてください。
セットが不十分だと　立消えや異常燃焼の原因となります。



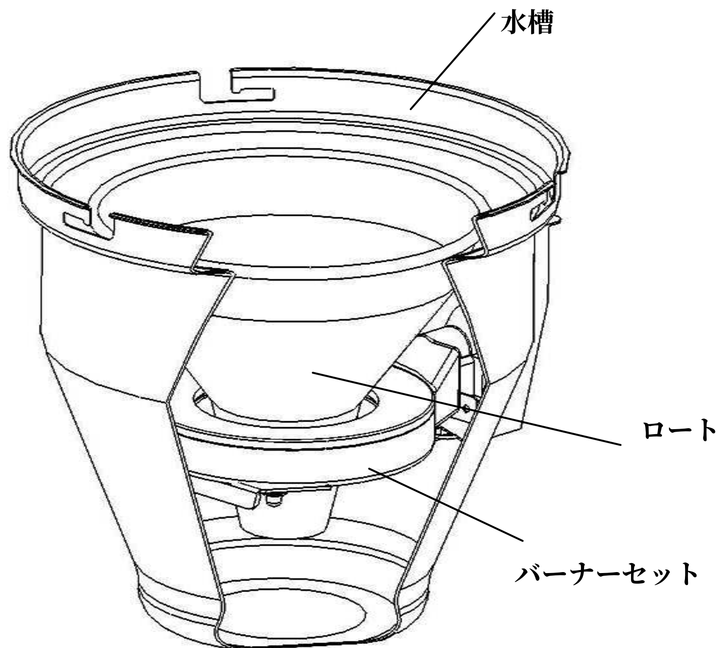
３．「水槽」に水を入れてください。

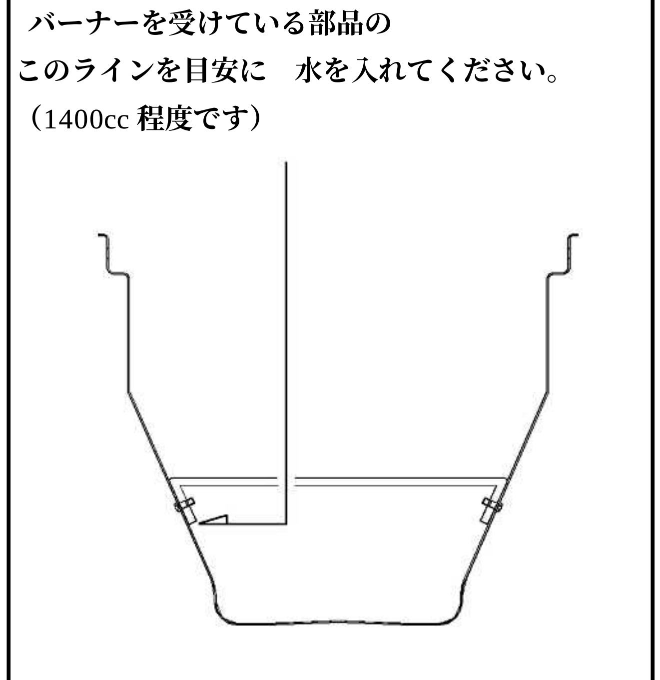
※1　適量は 1,400cc です。

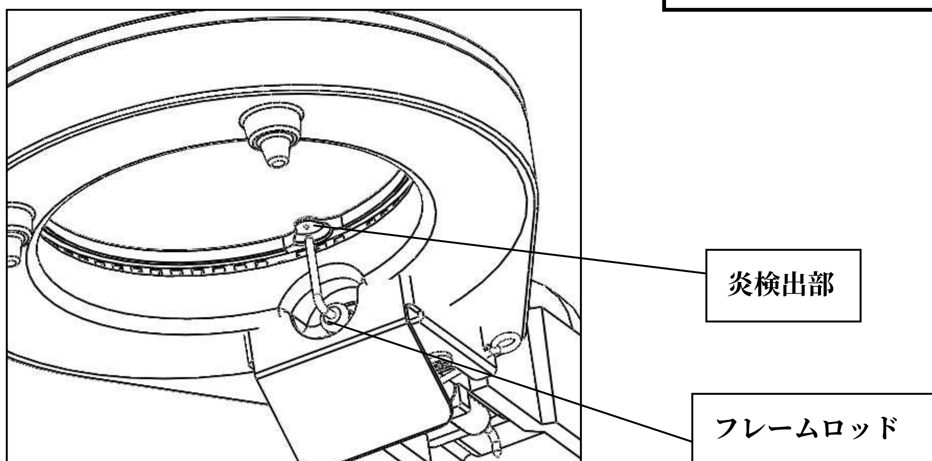
※2　付属の「ロート」をご利用ください。

※3　水を入れる際にバーナーに水がかかると、立消え安全装置の
誤動作や　着火不良の原因となります。

・特にフレームロッド（立消え安全装置のセンサー）の炎検出部が
濡れたり　汚れていると　誤動作の原因となります。







４．「炭つぼ」「さな」「トップリング」をセットしてください。

５．「炭」を「さな」の上に　ならべてください。

※「炭」の適量は 約 500ｇ です。

※「炭」を重ねる際に 底には「消し炭」を用いると 早く着火できます。

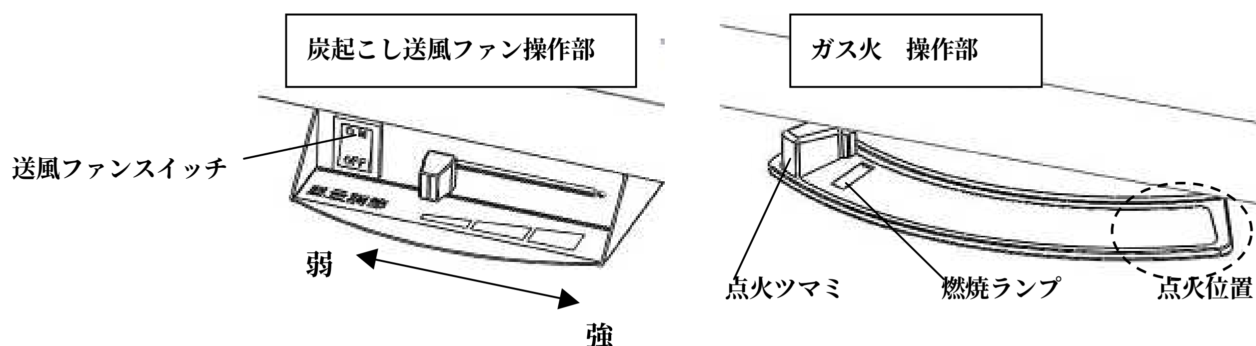
ー以上で準備は完了ですー

使いかた

点火、火おこしと火力調節

点火前に必ず換気扇を運転して下さい。
不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の恐れがあります。

１．「送風ファンのスイッチ」を OFF にします。
２．「点火ツマミ」を右（「点火」の方向）へ　止まるまで動かしてください。
・「点火ツマミ」を「点火」まで動かすと自動的にロースターに
電源が入ります。
・「点火ツマミ」を「点火」位置まで動かし、数秒間そのまま保持して下さい。
・「チチチ‥」と音がして点火します。
・ 点火すると燃焼ランプが赤色に点灯します。
※初めて使う時や、しばらく使わなかったときは、すぐに点火しない場合や
点火してもツマミから手を離すと消える場合があります。
その場合には 「点火ツマミ」を一度、「止」の位置まで戻し、しばらく待って
から、改めて操作を行なって下さい。
（再点火作業は 10 秒以上たってから行って下さい。10 秒以内での
再点火作業は安全装置が作動し、点火できない様になっています。）



３．バーナーにガスが点火したら 「送風ファンのスイッチ」を入れ
「送風ファンのツマミ」を「強」（一番右方向）にします。
・送風ファン「強」、ガス炎「強」の状態が炭に早く着火します。

４．炭にある程度 火がついたら、ガスを止めます。（目安は点火後 ５～８分です）
（「点火ツマミ」を左に止まるまで（「止」の位置まで）動かします。）
・ガスの燃焼ランプ（赤色）が消えます。

（１）　送風ファンのツマミを動かして、火力調節をして下さい。
・右に動かすと強くなり、左に動かすと弱くなります。
・お客様が肉を焼いている途中、お店の方は炭火の状態に注意してください。
・炭が燃焼し、火力が弱くなったら追い炭をして下さい。

注意とお願い

・お客様の変わり目などで、網を交換する時、「水槽」の水量を確認して下さい。
もし少なくなっていたら水を追加して下さい。空水の状態が続くと
器具内の温度が上がり 内蔵されたセンサーがそれを検知し､ブザーで知らせると
同時に　ガスを遮断します。
※ 「炭つぼ」は高温になっていますので、着脱は専用のグリッパーを用いて下さい。

消 火（ご使用後）

１．送風ファンのスイッチを切ります。

２.「点火ツマミ」が「止」の位置になっているか確認して下さい。

３．排気ファンスイッチは消火後、しばらくたってから消して下さい。
・器具内を冷却させます。

４．残り炭は、消しツボで消火します。
・残り炭の扱いには十分注意して下さい。
・消し炭は、次回の火おこしに再利用できます。

お手入のしかた

１．トップリング・さな・炭つぼ・水槽

・毎日、専用洗剤[オーブンクリーナーFF／D9]（３～５倍希釈）で洗って下さい。

・乱暴に扱うとホーロー製品はヒビや変形がおこり異常燃焼の原因となります。

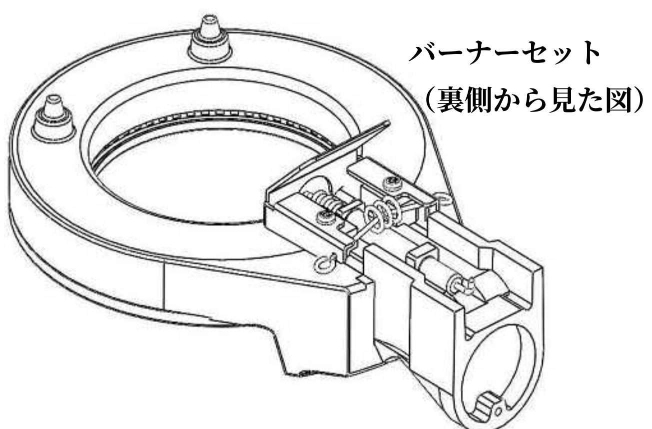
・トップリングは　かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

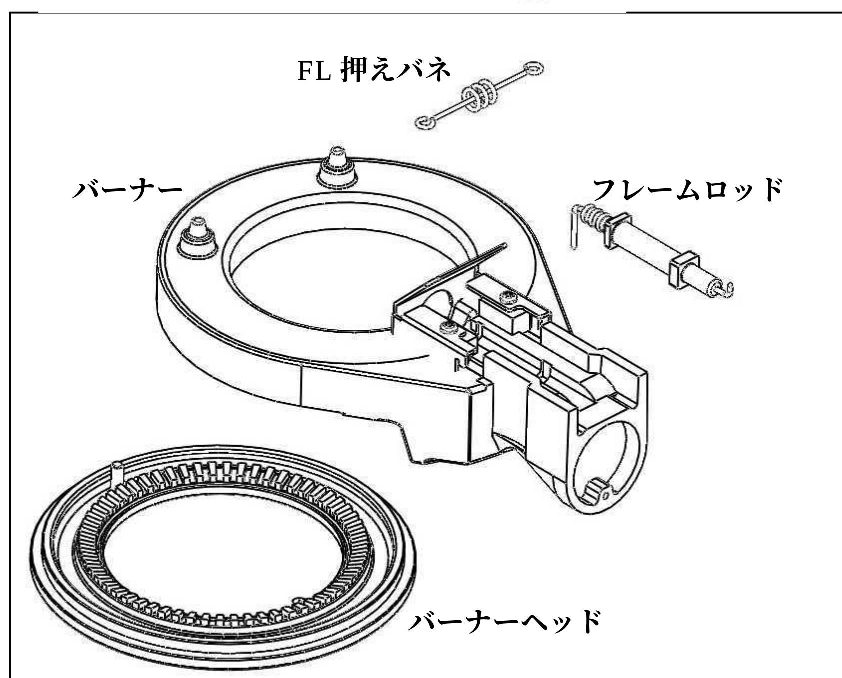
２．アウターリング・油受け・保護網

・中性洗剤で　洗ってください。

・かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

３．バーナーセット





・バーナー

汚れは金属ブラシ等で取り除いて下さい。鋳物製ですので水洗いをしないで下さい。サビの発生原因となります。バーナーが濡れた場合は完全に乾燥させてからセットしてください。

・バーナーヘッド

炎孔の目詰まりなどを取り除いてください。水洗いしたときは完全に乾燥させてからセットしてください。炎孔が詰まっていると不完全燃焼の原因となります。

・フレームロッド

定期的にブラシなどで清掃してください。水洗いは行わないで下さい。安全装置などの誤動作原因となります。

4．フィルター

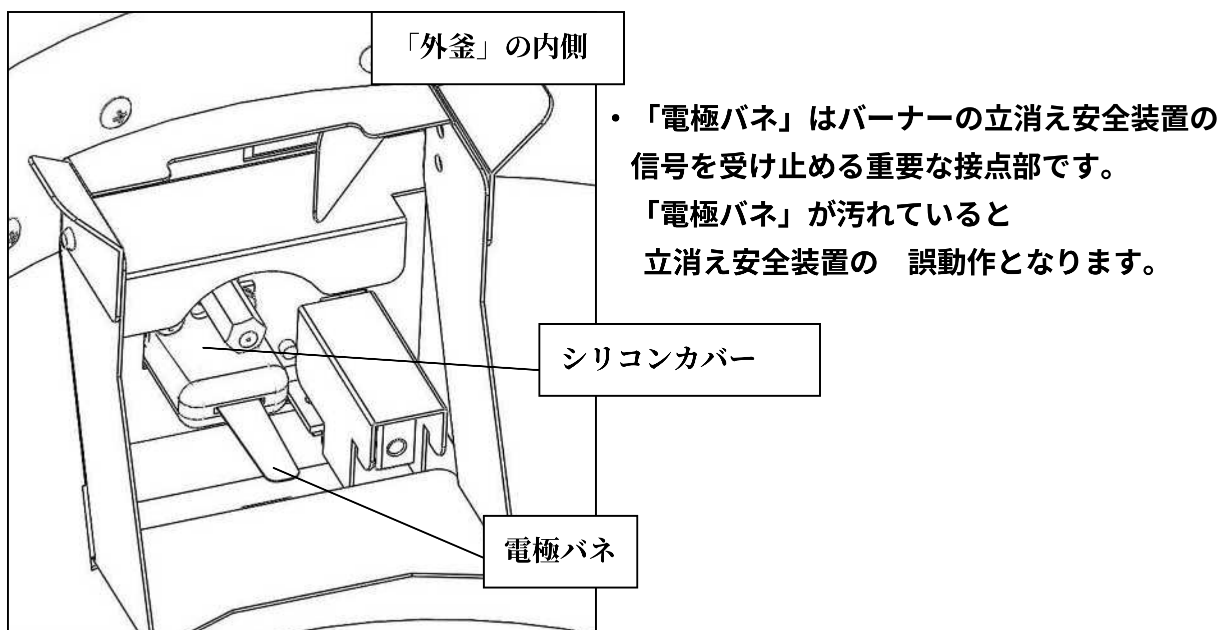
・一週間に一度は専用洗剤「オーブンクリーナーFF／D９」（３〜5倍希釈）に2時間以上、
浸けおきして きれいな水等ですすいだ後、十分に乾かして使用して下さい。

※汚れがひどくなると、排気ファンの能力を大幅に低下させます。

5．外　釜

・使用頻度にも異なりますが、定期的に汚れを拭き取って下さい。
「外釜」に汚れが溜まっているとダクト火災の原因になります。

6．電極バネ（立消え安全装置：フレームロッド接点部）



・「電極バネ」はバーナーの立消え安全装置の信号を受け止める重要な接点部です。
「電極バネ」が汚れていると
立消え安全装置の　誤動作となります。

定期的に　「シリコンカバー」を外して汚れを　取り除いてください。

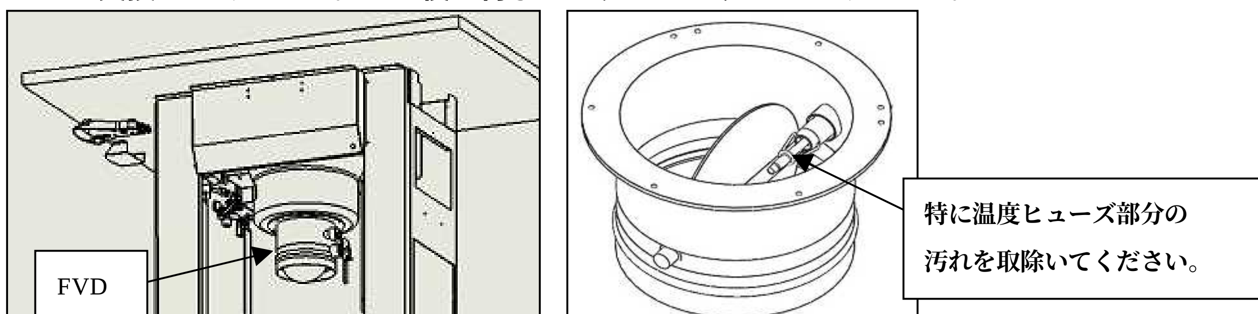
※「シリコンカバー」も定期的に洗剤で洗い、完全に乾かしてから
元の様にかぶせてください。

7．ＦＶＤ（防火ダンパー）

・定期的に、釜の内側からウエス等で油脂汚れを拭き取って下さい。

※油脂による汚れが固着すると、防火の動作に支障をきたし火災原因になります。

※FVDが作動した場合（炎が排気経路に流入したときに作動します。）は
温度ヒューズホルダーを反時計方向に回転させて外し、内部の温度ヒューズを
交換してください。その後、再びホルダーをセットしてください。



・形　名　　　JC－C（本炭タイプ）

・焼き方　　　網　、　ロストル

・水槽水量　　1,400 cc

・電　源　　　100V　50/60Hz 共用

・消費電力　　16　W

・ガス消費量　都市ガス：3.84　kW　（3,300 kcal/h）

LP ガス　：　〃　　（0.27 kg/h）

・点火方式　　連続スパーク方式

・安全装置　　立消え安全装置　　逆火防止装置

漏電遮断機　　ダクト遮断装置

株式会社　中部コーポレーション　本社 〒511-0944
三重県桑名市芳ヶ崎堂ヶ峰 1533-1
Tel.　0594-32-1131　Fax.　0594-32-1132

東京営業所　Tel.　03-5833-9969　　名古屋営業所　Tel.　0594-32-1135
大阪営業所　Tel.　06-6788-3081　　福岡営業所　Tel.　092-474-8800

H23-9-13

JCMT14117-0
JC-C　取扱説明書